


泉大津市図書館整備の方向性について

1 図書館の現状と課題

老朽化

図書館施設の老朽化、耐震不足。利用の減少。
情報化、国際化社会の進展する中で市民の多様な生活を支える、情報資源の収集と対応力の強化が必要とされている。市民のニーズを把握し、市民が必要としているサービスを提供する必要がある。
関連する図書館団体との連携による対



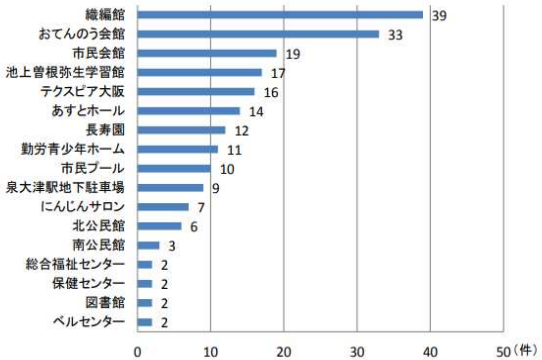
貸出、利用の鈍化

貸出人数、貸出冊数とも減少が続いている。特にカセット、CD等の利用は25年と比較すると約4割の減少している。
今後人口減少、年少人口の激減への対策は不可欠であり、同時に図書館施設の老朽化が見られ、建て替えが必要な時期にある。

	貸出人数	貸出冊数	CD等貸出点数
平成25年度	87,583	280,965	7,861
平成26年度	83,119	262,733	6,619
平成27年度	80,241	253,253	5,461
平成28年度	74,035	233,044	4,442
平成29年度	75,749	233,641	4,534

市民ニーズ

「第3次泉大津市総合計画」時のアンケートでは、図書館は減らしても良い公共施設ではなかった。



目指すべき方向(今後市民調査などを経て作成)
◆ 基本コンセプト

サービス強化

ターゲットの明確化
特に幼児と児童
子育て世代
戦略的なサービス

情報力強化

蔵書冊数、書籍充実
雑誌数、新聞数
電子図書、有料DB等IT化

空間の魅力化 居場所・交流

居心地の良さ
幼児、児童、青少年専用
空間、ビジネス支援、
静かである空間、会話と

2 社会的変化への対応

人口減少

泉大津市の人口は、2045年には、約1万9千人減少して5万7千人となる。特に年少人口が45%も減少する。同時に生産労働人口も37%も減少する。
人口減少と公共施設、サービスから、その需要量を見たうえで、施設規模やサービスの質を決定する必要がある。
一方で地方創生の視点から見ると子育て支援や教育の質を高めることで、子育て世帯や出産可能な若い世帯の移住を呼び込むことも可能であり、学校教育の特徴化、図書館を含めた生涯学習への期待は高い。

年齢	2015年	2045年	差異	%
0~14歳	10,541	5,839	-4,702	55%
15~64歳	47,219	29,939	-17,280	63%
65歳以上	18,137	21,302	3,165	117%
合計	75,897	57,080	-18,817	75%

多様な働き方

副業の容認や女性や高齢者の就業が増加する中で、多様な働き方のニーズが生まれている。
掃除にテレワーク等、自宅やSOHO オフィスや、コワーキングスペース等を利用した、柔軟な働き方も見えてきている。
こうした変化に伴い、図書館は、ビジネス支援や就労支援といったサービスの追加が重要視されている。

社会変化: 多様な働き方

テレワーク 拡大	女性の就業 拡大	創業、新ビジネス 創出
-------------	-------------	----------------

ビジネス支援図書館機能
コワーキング空間、SHOP、ビジネス相談、メンター等の専門人材

国際化・IT化

国際化の進展によって、世界中の情報が瞬時に日本にも届くと同時に、外国人労働者、外国人観光客の増加が著しい。
また、IoTやAI等が本格的に動き出し、電化製品や自動車にも大きな変化が生まれている。
出版業界でもスマートメディアの普及の広がりとともに電子図書や新聞の電子化が進んでいる。

新たな潮流: 国際化、IT化

外国人労働者・留学生の増加	電子図書、タブレット端末	新図書館システム
---------------	--------------	----------

PC、Wi-Fiサービス、外国語図書・資料の外国語人材育成 新システム導入

外国人増加、関空利用増

泉大津市でも外国人労働者や外国人留学生が増加している。
関西国際空港の利用者増にも伴い、関連企業のスタッフの宿舎や寮の需要が拡大するなど、従業員の住宅需要も増加している。

泉大津市変化要因

人口減 高齢者増 児童生徒減	外国人留学生増加	関空利用増に伴う寮等の住宅需要拡大
----------------------	----------	-------------------

高齢者向サービス空間 ゲーム遊び要素、外国人向けサービス

駅前への移転

新図書館の移転候補先が駅前ビルとなることで、従来図書館を利用しなかった、高校生や大学生、バス、電車の利用者の増加が見込まれる。
同時に市外在住者の利用も想定され、他地域との広域利用連携を図る。

立地変化: 駅前へ

高校・大学生の利用拡大	バス・電車利用者の利用増	市外利用者増
-------------	--------------	--------

市外利用者対策、他市、大学との広域連携へ利用時間拡大

泉大津市新図書館機能の整理

項目	幼児0-5歳	児童6-12歳	teenage13-18歳	成人			ビジネス支援	外国人	
図書	絵本・紙芝居	児童書	ヤングアダルト図書	一般図書・電子図書	雑誌	新聞	郷土資料	ビジネス支援支援図書	外国語図書
名称	おはなし室	児童コーナー	青少年サロン	一般図書室	雑誌コーナー	新聞コーナー	泉大津市の郷土及び行政資料	ビジネス支援コーナー	外国語図書コーナー
機能	絵本の読み聞かせや季節行事を実施する空間	児童が本を読んだり、調べ物ができる空間	青少年専用の空間。勉強だけでなくお喋りやゲームOKの空間	一般成人向け図書空間と閲覧空間及び学習空間	広域、地域の雑誌を読める空間	全国紙地方紙の収集と整理	地域の歴史、特徴を調べられるデータベースや資料収集	サラリーマンや経営者、起業したい人向けの専門書を集めて配架	英語などの外国語で書かれた本のコーナー
要件	カーペットや木の床で靴を脱いで寝転ぶことができる	児童の目線で図書が配架され、本が探しやすい分類されている	中高生専用の空間であること	一般成人向け図書の収集と整理と情報発信を行う	雑誌のバックナンバーのストック、閲覧用の椅子を付帯させる	当日分新聞およびバックナンバーストックが常備されている	地域の歴史、特徴を調べられるデータベースや資料収集行政資料が常備されている	経済書、有料データベースの閲覧ができる。コワーキングスペース併設有り	小説などの読み物のほか、日本の生活や文化を紹介した本や絵本を揃える
	 <p style="text-align: center;">遊び場コーナー 幼児や児童が自由に遊べる空間</p> 		 	 	 	 	 	 	

項目	ゲート・ラウンジ	貸出カウンター	コンシェルジュ	レファレンスコーナー	研修室・会議室	児童用トイレ・授乳室	カフェコーナー	IT・インターネット	織編館
機能	入室者の管理や図書の不正持ち出し防止ゲート。ゆっくりくつろげるラウンジ	本の貸出返却を行う。セルフ機器の導入の可能性もある	図書館内及び地域の情報を提供する。図書館ツアーやまち歩きツアーの実施	必要な資料や情報を必要の人に、的確に案内するサービス	研修やイベント、会議、打ち合わせに利用。有料で地域に貸出も可能	幼児や児童向けの専用のトイレ。乳児連れの母親のための授乳室、おむつ替え台を備え付ける	休息や交流のためのカフェ軽食コーナー。ショップを併設する	自由に使えるPC、Wi-Fi 自分のPCやタブレットの持ち込みもOK。電源を使えるようにする	泉大津市の毛布産業とニット産業の歴史に触れる機能
	 	 	 	 	 	 	 <p style="text-align: center;">ショップ</p> 	 	<p>常設展示 60㎡</p>  <p>ギャラリー 現状面積 62㎡ 使用期間 木-火曜日 使用料 3万円</p>

* 配置や面積などは今後協議する。コーナーごとに分割されている必要はなく、複合的に融合化も必要。

図書館空間の考察

日本図書館協会「日本の図書館2003」で示した望ましい公立図書館の数値目標は以下の通り。

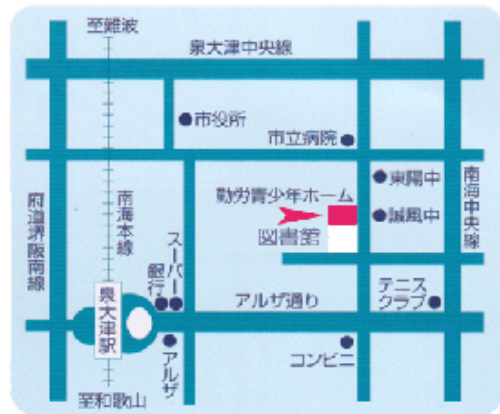
- 【面積】 人口6,900人未満1,080㎡を最低とし、152,200人では1人につき0.03㎡加算
- 【蔵書冊数】 人口6,900人未満67,270冊を最低とし、152,200人までは1人につき3.9冊加算
- 【開架冊数】 人口6,900人未満48,906冊を最低とし、152,200人までは1人につき1.67冊加算
- 【資料費】 人口6,900人未満1,000万円を最低とし、152,200人までは1人につき466円加算
- 【職員数】 人口6,900人未満6人を最低とし、152,200人までは100人につき0.041人加算

これをもとに泉大津市の基準値を試算
人口75,000人基準

- 【面積】 $1,080\text{㎡} + 2,250\text{㎡} = 3,330\text{㎡}$
- 【蔵書冊数】 $67,270\text{冊} + 292,500\text{冊} = 359,770\text{冊}$
- 【開架冊数】 $48,906\text{冊} + 126,750\text{冊} = 175,656\text{冊}$
- 【資料費】 $1,000\text{万円} + 34,950\text{千円} = 44,950\text{千円}$
- 【職員数】 $6\text{人} + 30.75\text{人} = 36.75\text{人}$

現在の蔵書冊数	一般図書	児童図書	合計
	170,586	72,318	242,904

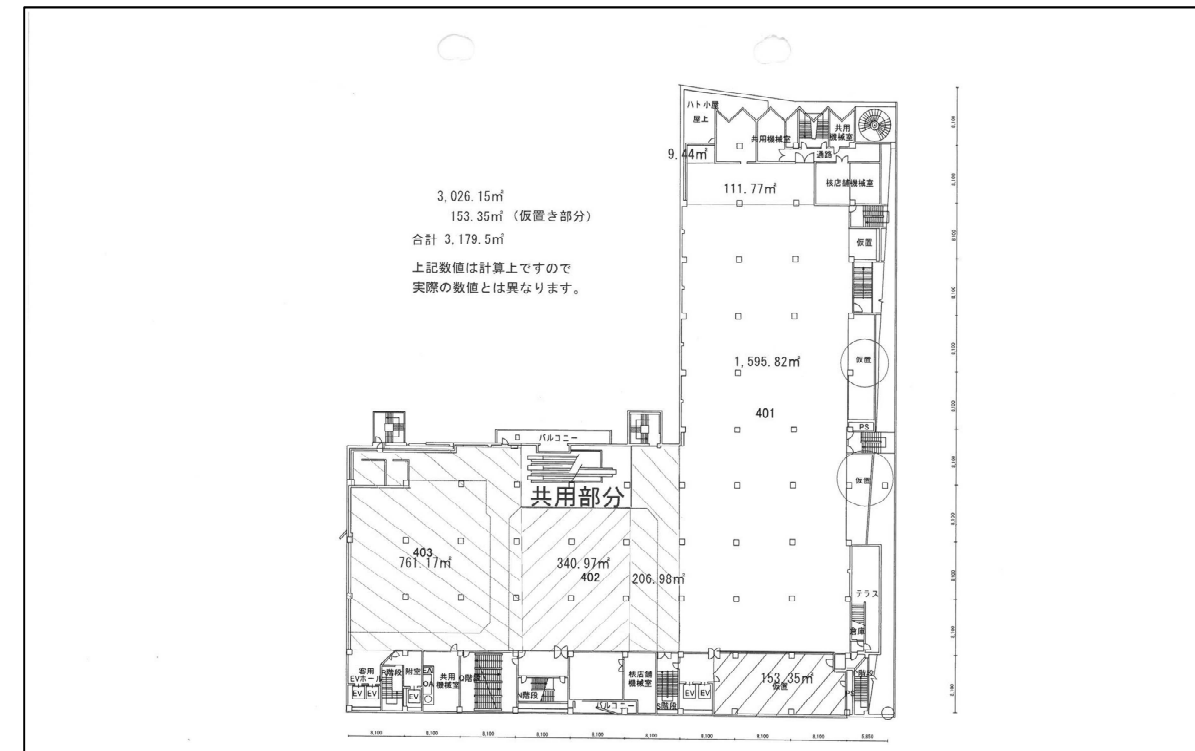
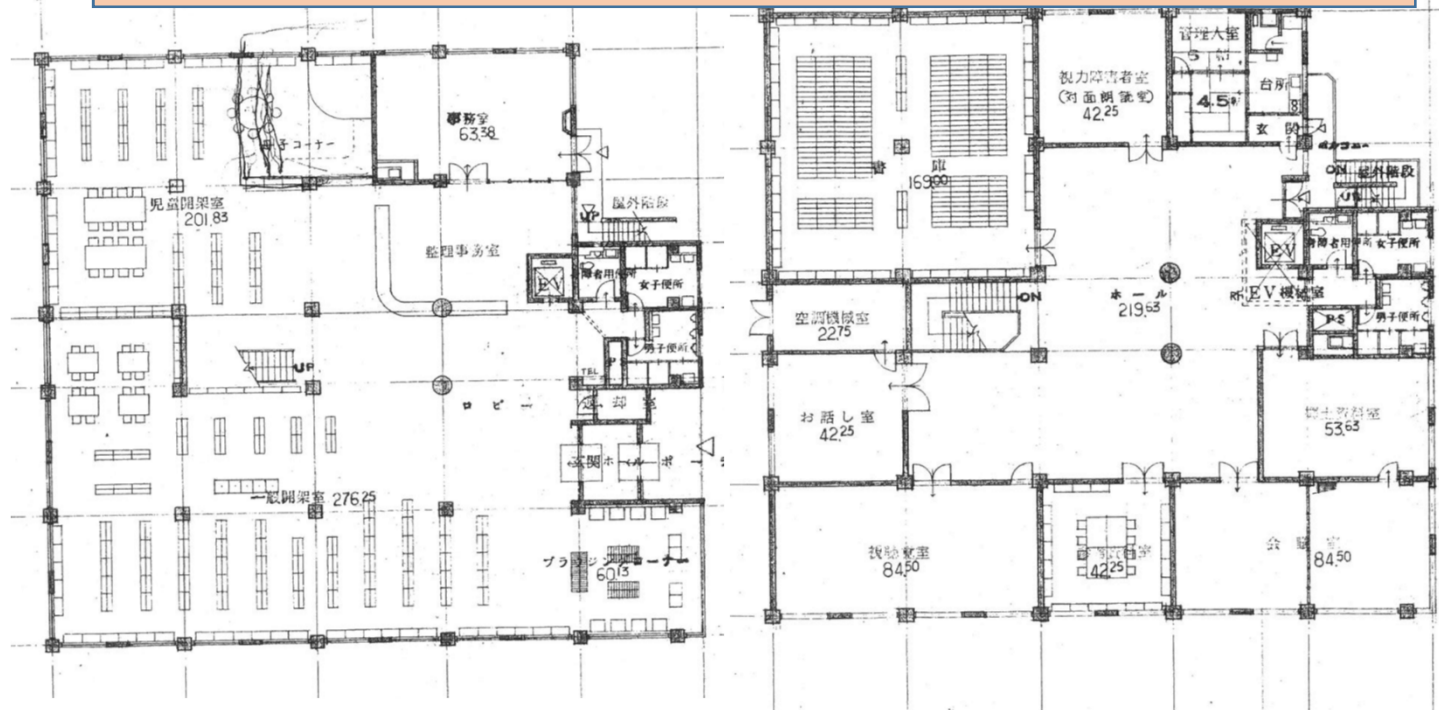
	現図書館	新図書館
建築年	昭和58年	平成6年
床面積	1766.1㎡	3026.15㎡
蔵書数	24万冊	
配架数	8万冊	



新図書館移転候補ビル図面

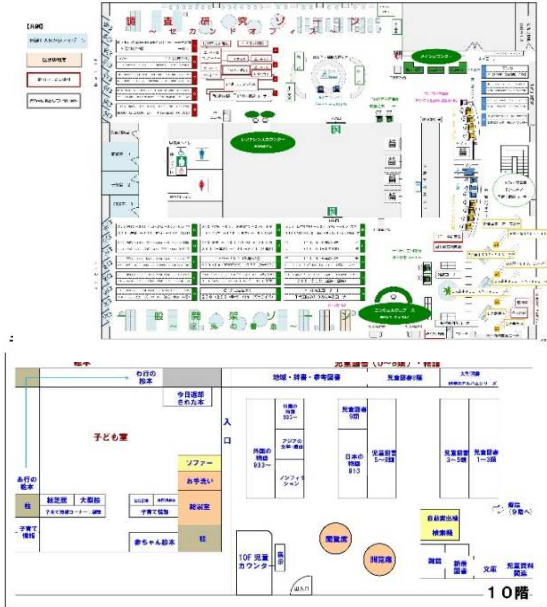
泉大津図書館 1階平面図

2階平面図



全国の図書館の動向(先進事例)

東京都千代田区立千代田図書館



所在地	東京都千代田区九段南1-2-1 千代田区役所内9階、10階
電話	03-2211-4289
開館時間	月～金 10時～22時 土曜日 10時～18時 日曜祝日 10時～17時
休館日	毎月第4日曜日、1～1/3、特別整理期間
敷地面積	5,599㎡(千代田区役所)
床面積	2,816.33㎡(占有面積)
図書館機能	メインカウンター、レファレンスサービスカウンター、 コンシェルジュブース、オンラインデータベース利用 席、一般開架ゾーン、調査研究ゾーン、チャレル席、 インターネット利用席・AVブース、新聞・雑誌・新着 図書・文庫本コーナー、中高生専用席、中高生専用 学習ルーム、展示ウォール、研修室、子ども・児童 書コーナー

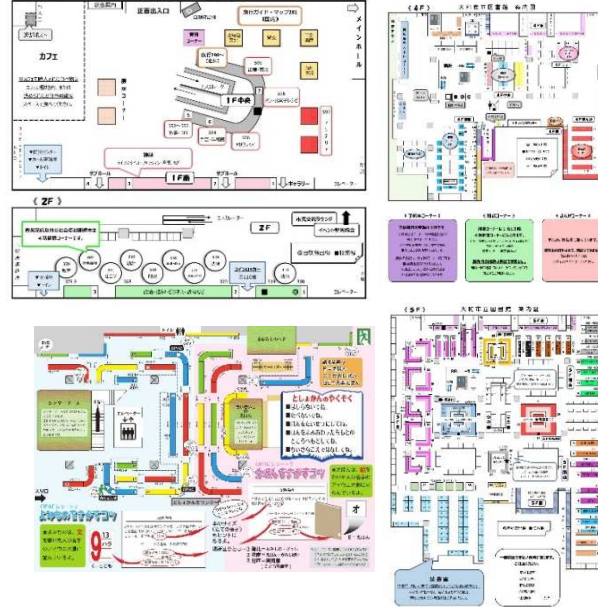
指定管理者、3社共同運営
直営より予算増額

ビジネス拠点
電子書籍

まちのコンシェル
ジュ
視察ツアー

神保町古本街と
の連携

神奈川県大和市文化創造拠点シリウス



所在地	神奈川県大和市大和南1-8-1
電話	046-230-0214
開館時間	平日 10時～21時 日曜祝日 10時～20時
休館日	12/31、1/1
敷地面積	9,378㎡(文化創造拠点シリウス)
床面積	6,560㎡(占有面積)
図書館機能	自動貸出機、蔵書検索機、こども図書館、こども シアターブース、こども読書室、おはなしの部屋、 健康づくり図書館、健康度見える化コーナー、ま んがコーナー、雑誌コーナー、ティーンズコー ナー、健康テラス、リサイクルコーナー、ロボト コーナー、調べて学ぶ図書館、レファレンスカウ ンター、自動返却機、展示図書室、インターネッ トデータベース、読書室

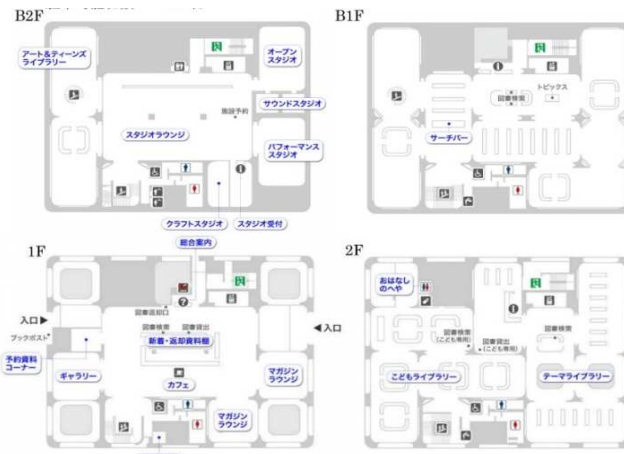
指定管理者制度

芸術文化ホール、生涯
学習センター、屋内こど
も広場の複合施設

規則で縛らない図書
館

電子書籍貸出

東京都武蔵野市武蔵野プレイス



所在地	東京都武蔵野市城町3-18
電話	0422-30-1900
開館時間	10時～22時
休館日	毎週水曜日(祝日と重なる場合は開館)、翌日 (は休館)年末年始、図書特別整理期間
敷地面積	2,186.20㎡
延床面積	9,809.76㎡
図書館機能	新聞・雑誌コーナー、予約資料コーナー、新 着・送付資料機、一般図書コーナー、生活関 連図書・児童図書コーナー、おはなしの部屋、 読書コーナー、有料データベース等検索機/コ ンピューター、レファレンスカウンター、録音室、 芸術分野及び青少年向け図書コーナー

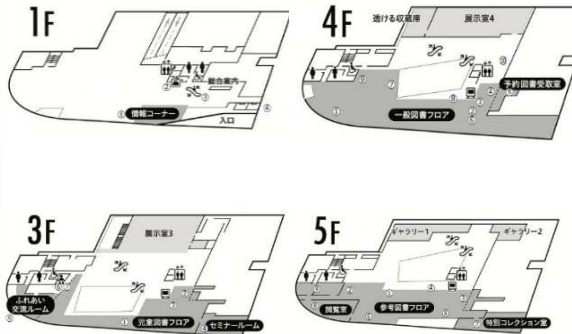
指定管理
市の財団

ICT導入
無人貸出返却
22時まで開館

市民活動拠点
青少年支援拠点

1F正面カフェ・レストラン充実
憩い空間重視
夜は酒類提供

富山県富山市立図書館



所在地	富山県富山市西町5-1
電話	076-431-3200
開館時間	日曜日～木曜日 9時30分～19時 金曜日・土曜日 9時30分～20時 情報コーナー(1階)17時～20時
休館日	毎月第1水曜日(祝日の場合は翌日)12/29～ 1/3、蔵書点検期間
敷地面積	4,114㎡(富山県庁)
床面積	4,500㎡(専用部分)
図書館機能	情報コーナー、自動車文庫、BDSゲート、イン ターネットコーナー、ふれあい交流ルーム、セミ ナールーム、読書相談カウンター、作業室、授 乳室、幼児月1回、予約図書受取室、蔵書検 索機、パソコン専用席、雑誌コーナー、視聴覚・ 情報検索コーナー、データベースコーナー、特別 コレクション室、新聞コーナー、音訳作業室

公設公営

中心市街地設
置
駐車場なし

雑誌500種
企業寄付で賄う

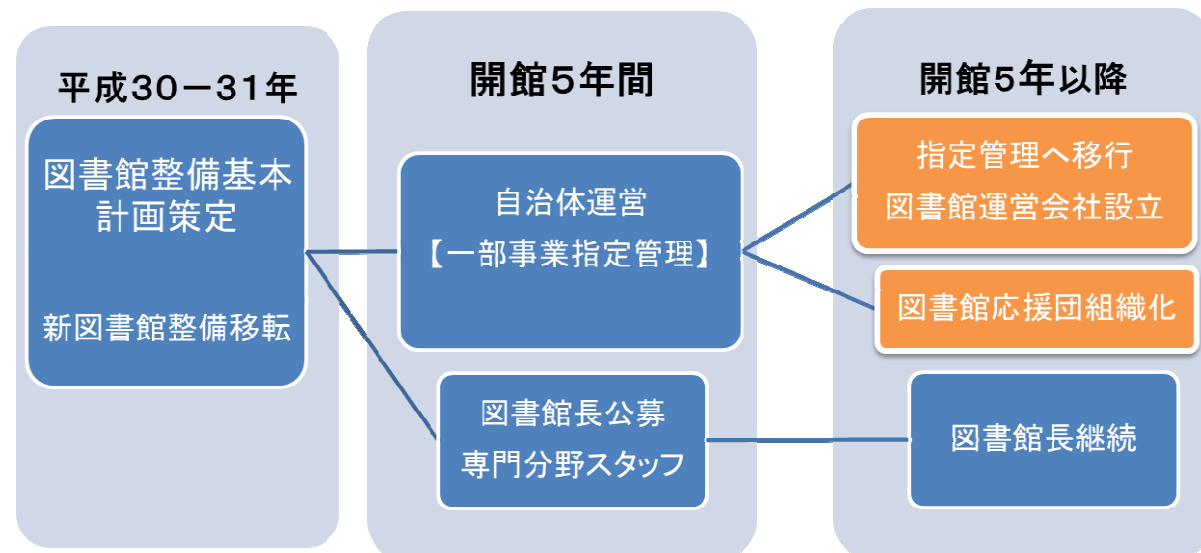
朝7時～夜8時
座席数500席

ICT導入
無人貸出返却

管理運営計画の検討

新図書館管理運営体制案

- ① 駅前に移転する図書館は、泉大津市の今後のまちづくりの方向を示す拠点施設
そのため、市役所の戦略や市長の意思を的確に反映できる市役所の直営方式を提案。
- ② 図書館長、専門スタッフ招聘
多機能型、情報拠点となる図書館の運営は、多岐にわたり、図書館や社会教育施設を運営した経験を持つ
専門家を図書館長として招聘する。広報、イベント事業、ビジネス支援のプロ集団も加える。
- ③ **5年目以降は、その招聘した図書館長を中心に地元で図書館運営の会社を設立し運営を行う。**
それにより、地域雇用を拡大する。合わせて、**市民による図書館応援団を組織化し、市民がお客様から
サービス主体者としての役割を果たす。**



整備手法案

- 図書館整備に当たっては、
- 1 運営主体及び運営方式を先に決定してから整備を行う。直営、指定管理手法などは、市民ワークショップ、有識者会議で協議
 - 2 PPP(官民連携)手法を用いて、契約事務手続きの簡素化、短工事期間、コストの合理性、デザイン性を向上させる
 - 3 提供サービスの向上、運営コストの合理化、利用者の拡大や満足度を上げることが可能



PPP(パブリック・プライベート・パートナーシップ)の定義

公共サービスの提供や地域経済の再生等、政策目的事業の実施にあたり、官(地方自治体等)と民(企業、NPO、市民等)が、
①「目的決定」「施設建設・所有」「事業運営」「資金調達」で役割を分担
②「リスクとリターンの設計」「契約によるガバナンス」の2つの原則
PPPは、官民パートナーシップの総称であり、指定管理者制度、学校施設舎活用、企業誘致、観光振興、商店街再生などを含み、多くの自治体で導入

PPPの事業方式	設計 Design	建設 Build	所有権	運営 Operate	資金調達	特徴
指定管理者方式	-	-	-	○	-	公共施設の運営を民間に包括的に代行させる方式。民間のノウハウを活用することで住民サービスの質の向上を図り、施設設置の目的を効果的に達成することができる。
DBO方式	○	○	-	○	-	設計・建設・運営を一括で発注することから施設設計画に維持管理のノウハウが反映でき、最適な施設設計画が可能である点において優れている。長期間の計画的な運営により、維持管理費用の低減を図ることができる。
DB方式 デザインビルド	○	○	-	-	-	設計・建設を一括で発注する方式。実施設計段階から一貫して事業を進められるため、設計、建設事業の短縮、予算減価等が期待できる。民間のデザインや商業的な魅力ある空間整備が可能。
PFI方式 ※BTO方式 =コンセッション方式	-	○	移管 Transfer	○	○	事業者が施設を建設した後、施設の所有権を公共側に移管したうえで、事業者がその施設の運営を行う方式。民間資金等を活用することから従来の公設型に比べ、より効率的な公共サービスが期待できる。